

第4回 リモートセンシング シンポジウムのお知らせ

主催 (社)計測自動制御学会
企画 リモートセンシング部会
協賛 応用物理学会, 海洋気象学会, 画像電子学会, 精機学会, 地震学会, テレビジョン学会, 電気学会, 電子通信学会, 土木学会, 日本海洋学会, 日本火山学会, 日本機械学会, 日本気象学会, 日本鉱業会, 日本航空宇宙学会, 日本写真学会, 日本写真測量学会, 日本自動制御協会, 日本造船振興財団, 日本地質学会, 日本林業技術協会, 日本陸水学会, 農業土木学会, 物理探鉱技術協

会, リモートセンシング技術センター, さきに講演募集いたしました「第4回リモートセンシングシンポジウム」を下記により開催いたすことになりました。

記

日時 昭和53年11月21日(火), 22日(水)
会場 機械振興会館〔東京都港区芝公園3-5-8〕
 電話 (03) 434-8211
連絡先 (社)計測自動制御学会 電話 502-1917

気候変動シンポジウム——諸要因の変動——

のお知らせ

講演企画委員会

日時 昭和53年12月7日(木) 9:30~17:00

場所 気象庁講堂

座長 田中正之(東北大理), 嘉納宗靖(気研高物)

第1部 (9:30~12:30)

1. 高柳洋吉(東北大理): 過去の気候変動—主として古生物学の立場から見た古環境とその変動—
2. 桜井邦明(神奈川大工): 太陽放射の変動性—太陽物理学の立場から見た太陽放射の変動性—
- 3a. 町田 洋(都立大理): 第4紀の火山活動の変動と気候

3b. 山元龍三郎(京大理): 最近の火山活動の変動と気候

第2部 (13:30~15:45)

4. 中島映至(東北大理): 地球軌道要素の変動と気候—ミランコヴィッチ説とその位置づけ—
5. 川井直人(阪大基礎工): 地磁気の変動と気候
6. 朝倉 正(気象庁長期): 最近の気候変動

第3部 (16:00~17:00)

総合討論